

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

公表：令和 6年 4月 1日

事業所名 クオリティオブライフ中丸支援教室

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	13%	0%	活動内容に合わせて配置を変えて使用できる。
	② 職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	理学療法士、保育士、児童支援員、児童発達支援管理責任者等の有資格者を配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	50%	25%	25%	建物への入り口が階段なので支援員が付いて安全確保している。教室内は必要最小限のものを置く。整理整頓して物の居場所をつくる。女子の着替えはトイレのスペースを使う。
業務 改善	④ 業務改善を図るためにPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	88%	13%	0%	計画、実行、評価、改善の為に常に職員同士話し合い支援の統一、情報の共有、改善してより良い支援を行っている。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	アンケート結果を職員と話し合い、保護者利用者の要望を把握。足りない部分を改善して行く。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	毎年ホームページに公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%	0%	0%	第三者委員会を設置している。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修機会を確保しているか	100%	0%	0%	外部講師を招いての全体研修、各教室での研修、外部へ出向いての研修に積極的に参加している。週1回の全職員でのミーティング支援についての話し合いを行い、最善の支援ができるように常に考えている。
適切 な支 援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別支援アンケート、送迎時、面談にて保護者、利用者のニーズを聞き取る。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	統一された支援の為に情報共有、申し送りでチームの考えを一致させる。全員で話し合いをして変更、決定する。
	⑫ 活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	カリキュラム委員会、企画課で大案を作り、教室で利用者個々に合った内容にしている。季節のイベント、工作、飾り付けを通して季節を知る。
	⑬ 平日・休日・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	年間スケジュールを基に利用者が楽しく活動できるように常に考えてく工夫している。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個別支援計画書に基づき当日の状況、体調に応じて個別活動、集団活動において支援する。
	⑮ 支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	13：30～14：00に社員のみで打ち合わせ、その後、パート職員に周知。前日に送迎、カリキュラム内容を周知。準備、送迎に間違いのない事を確認。長期休みの時には朝の会時に申し送り、注意事項、変更点を周知する。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	支援後送迎があり、全員では集まれないが、メール、電話等でその日のうちに報告、連絡、相談し共有し、改善している。その日に起きたことを職員同士で話し合い、次の支援の際より良い支援ができるように心がけている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	モニタリングシート、ノート、支援記録を毎日記入。問題点を見つけて改善の為にミーティングして話し合っている。日々の記録を書く際によかったこと、悪かったことをを振り返り、よかったことを次もまたできるように、悪かったことは改善点を見つけられるように心がけている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定期的にモニタリングを行い、変化、ニーズ、課題点、目標を知る。
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	100%	0%	0%		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	相談支援事業所の求めで、学校へ出向き、本事業所の児童発達支援管理責任者が本児の教室での様子を書類にして持参し、サービス担当者会議に参加している。	

事業所における自己評価の結果（公表）

【放課後等デイサービス】

関係機関や保護者との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	送迎時に学校での様子を聞き本事業所での様子を伝えて情報共有し。対応方法など検討している。学校からの下校時間変更の連絡もいただく。家庭、学校と連携して下校時間変更確認対応している。トラブル発生時も迅速に対応する。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	50%	50%	現在医療的ケアの必要な利用者はいない。必要な時は主治医、家庭と連携する。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	同法人内では密な連携をとり、問い合わせに速やかに対応、契約前には見学、体験を行い情報共有している。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	88%	13%	0%	同法人内では密な連携をとり、問い合わせに速やかに対応、契約前には見学、体験を行い情報共有している。他事業所に求められた時には速やかに対応、情報共有する。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	88%	13%	0%	社協・水戸市主催の研修、会合に積極的に参加する。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	25%	50%	25%	福祉関係の仕事を目指す学生のインターンシップを受け入れている。ボランティア活動の学生を受け入れている。同グループシルエラが普通小、支援学校でのサッカー教室を行っている。フェス、発表会での催し物で地域のお子様と関わっている。
	㉖	協議会等へ積極的に参加しているか	75%	25%	0%	社協・水戸市主催の研修、会合に積極的に参加している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	日々の活動中に問題があった時には電話連絡して情報の共有。家庭と教室での支援方法を共有。送迎時活動の報告、対話での情報の共有。共通理解に努める。職員間の連携を密にして速やかな対応をする。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%	0%	0%	面談時、送迎時、相談があった時、保護者の気持ちに寄り添い、出来る限り最大の対応をする。学校、相談員、他事業所も含めて担当者会議を行い話し合いの場を作る。
保護者への説明的責任等	㉙	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時、面談時、送迎時等丁寧に関わり保護者との話しやすい関係作りを行う。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%	保護者との密な関係、話しやすい関係をつくる。何でも話せる相談しやすい雰囲気作り。相談があった時には丁寧に対応する。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%	0%	0%	保護者会、保護者遠足を開催。
	㉜	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	教室主任副主任を中心に保護者からの疑問意見に対して迅速丁寧に対応。本社管理者、役員への報告、相談も併せて行われている。
	㉝	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	ハグシステムにより日々の活動の様子を写真付きでアップしている。次月の活動内容、給食メニュー等もアップされる。保護者との双方向のやりとりも行われる。イベント等の参加申し込み等は書面でのやりとりをしている。
	㉞	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	鍵のある書庫に個人情報を収納。ブログ、インスタグラムに写真を乗せる時には個人情報同意書を基にダブルチェックする。
	㉟	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	丁寧に関わり個々に寄り添った配慮を心がけている。
非常時の対応	㊱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	88%	13%	0%	発表会、フェス、イベント等に相談員、学校の先生、他事業所の職員、取引先、研修依頼した外部講師の方々を招待している。
	㊲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	契約時に説明。職員は年に1回必ず目を通してしている。
	㊳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	年に2回消防に届け出開催。総合訓練として、通報、避難、消火訓練を行う。消防から水消火器を借りて消火訓練も行う。
	㊴	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	100%	0%	0%	年2回の教室内身体拘束適正化・虐待防止研修。年1回の外部講師を招いての法人全体での身体拘束適正化・虐待防止研修を開催。
	㊵	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	契約時に保護者に説明。緊急やむを得ない場合にのみ短時間で危険を回避する事を伝え、同意書を頂いている。
	㊶	食物アレルギーの子供について、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	食物アレルギーのある場合は、医師の診断でアレルギー票を提出
㊷	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	毎月の主任会議、身体拘束適正化・虐待防止委員会でヒヤリハット・事故・苦情報告を全事業所で周知再発防止策を話し合う。自教室では他教室で起きたことを話し合い、同じミス、事故を繰り返さないようにしている。	